

事務事業 No./名称	■サービス部門 生涯-14		調査・整備事業						
主管課	文化財課	関連課	鎌倉国宝館、世界遺産登録推進担当						
分野名	歴史環境								
目標 (目標値)	文化財を保存し、活用を図る。								
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,161人	176,669人	176,484人					
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源状況	事業の対象者数								
	決算値(千円)	89,834	107,245	103,556					
	(国・県)	46,631	45,949	48,003					
	(負担金等)								
	(一般財源)	43,203	61,296	55,553					
	人員配置数	3.5	3.0	3.0					
	人件費(千円)	33,915	28,877	28,492					
事務事業運営経費	協働のパートナー	(財)鎌倉風致保存会	(財)鎌倉風致保存会	(財)鎌倉風致保存会					
	総事業費(千円)	123,749	136,122	132,048					
	市民1人当りの経費(円)	699	770	748					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名	横浜市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市			
	包蔵地数	2379	478	465	276	214			
	土木工事届出・通知数	53	35	714	137	205			
	発掘調査届・通知数	6	3	28	20	17			
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
法93・94条に基づく届出・通知件数	○	目標値	600	600	600	600	1800		
		実績値	747	713					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
調査・整備事業	89,834千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	文化財の指定、指定文化財所有者への奨励金の交付、埋蔵文化財の記録保存、出土遺物の管理・保管、公有地の史跡の維持管理。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	埋蔵文化財出土資料が保存箱(テンバコ)で約3万箱あり、毎年増加しているため保管場所の確保及び整理を図る必要がある。			
課題解決のための取組	県の緊急雇用創出事業を活用し、資料の整理を行い、収納場所を確保する。			
未解決の課題	発掘調査を実施するまでの待ち時間(約9カ月)が増加している。			
今後の方針	財団設立することにより、発掘調査員の処遇を検討し、調査員確保、後継者育成等を図っていく。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了 課長名 小林 正敏

